

9月定例会報告 市長総括説明会から

9月2日、平成28年第3回市議会定例会が開会しました。

最初に①フランス・アヴェロン県オーブラック文化イベントへの参加②奈義町(岡山県)と「先端的まちづくりに関する連携協定」を締結したことを報告した後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものを説明しました。その概要をお知らせします。

■安全に安心して

暮らせるまち

○水害時における

市民の安全確保推進事業

「防災マップ」等の作成は、国の新たな浸水想定区域図(千年に1回と100年に1回の洪水規模)の公表が遅れたため、10月末まで期間を延長しています。

本市の防災マップは、より現実に即した100年に1回の洪水規模で作成しています。地図の縮尺は、3千分の1程度で「水害・土砂災害防

災マップ」「標高マップ」「白地図」の3種類の地図をセットにし「土砂災害警戒区域」なども表示しています。

今後、この地図の活用方法についての説明会を11月ごろから、地区公民館単位で開催し、全世帯に配布します。

○医療費適正化対策

急激な医療費の高騰により、今年度の国保税額が、対前年度比9・8%の増となりました。そこで、過去1年間の国保医療のレセプトデータおよび保健事業の特定健診データから、医療費の現状分析を行い、短期、中長期的な保健事業の実施計画を策定し、保健事業の推進と医療費適正化対策に努めます。

■人と自然が共生するまち

○自然再生アクションプラン

策定事業

本市での自然再生をさらに進めるため「自然再生アクションプラン」を平成29年度末を目指し策定します。これまでに蓄積されたノウハウを、生息環境のデータを分析し、科学的根拠に基づいた自然再生実践方法を構築します。

○クリーンパーク北但の状況

4月1日から開始したごみの全量受け入れは、事故等もなく順調に稼働し、8月7日には竣工式が開催されました。8月1日からは、運営会社を引き継がれ本稼働しています。4月から6月の本市の廃棄物搬入量は、7・179トンで、3市町全体の74・9%(北但行政事務組合の平成24年度一般廃棄物処理計画の予測より1・9ポイント増)です。

■持続可能な「力」を

高めるまち

○アンテナショップ運営状況

アンテナショップ「コウノトリの恵み豊岡」(東京有楽町)の5年目の総売上高は、4122万円(前年比3・9%増)、購入者は、4万8815人(前年比1・7%増)でした。

○外国人観光客の動向等

今年の第2四半期(4~6月)の外国人宿泊者数は、1万1939人(前年比1・37倍)。第1・第2四半期を合わせると2万2481人(前年比1・57倍)で、引き続き順調に増加しています。CIR(国際交流員)として市のインバウンド事業に従事

してきたサマンサ・バロウさんが任期を終え、新たに2人が着任しました。

○コウノトリ育むお米の海外

販路開拓に向けた取組み

コウノトリ育むお米の海外販売重点推進国の一つである米国のニューヨークで、9月に開催される日本食レストランエキスポに出展します。また、9月1日から21日まで、ニューヨーク・マンハッタンの高級料理店の2店舗で、コウノトリ育むお米を使用する試験事業も行います。

○IT企業の誘致

IT(情報通信)関連企業の立地優遇制度を拡充し、誘致の推進を図るため、今議会に関係条例の改正案と補正予算を提出しています。

○ITターン就業者等シェア

ハウス整備推進補助金

ITターンにより市内事業所で働く、または働くために学校へ通う39歳以下の人に、低廉な家賃で、入居者同士が交流しながら居住できる住宅を最長3年間提供するため、既存住宅等をシェアハウスとして整備する費用に補助金を交付します。

○産業用地の造成

北近畿豊岡自動車道に関連し、県が建設する県道「但馬空港線」の沿線土地を、企業が立地できる産業用地として整備します。

この事業に必要な補正予算を今議会に提出しています。

○専門職大学の設置

但馬3市2町は、但馬技術大学校をベースにした県立の専門職大学を誘致することで合意し、4年制専門職大学の設置を知事に要望したところ、知事から検討するとの回答をいただきました。

今後、地方創生の戦略的事業として、但馬を挙げた取組みを進めます。

○お試し居住事業等の拡大

長期間空き室となっている市営住宅のお試し居住事業を市内全域に拡大します。また、市外から市内の大学に進学する学生にも提供します。

今議会に、関係条例の改正案と市営住宅改修にかかる補正予算を提出しています。

○北近畿豊岡自動車道の

延伸に伴う「道の駅」整備

本市は、「道の駅」の候補地を(仮称)豊岡インターチェン

ジ付近での可能性が高いと判断し、国に可能性を含めた測量調査を依頼しました。

今後、国の測量調査結果を基に、規模やアクセス方法等を含めた整備の可能性について検討するとともに、整備に伴う導入機能や管理運営手法等の検討も進めます。

○北近畿豊岡自動車道

「八鹿日高道路」の開通記念イベント

今年度中の「八鹿日高道路」の供用開始(予定)に伴い、開通記念イベントを実施したいと考えています。

今議会に、事業に必要な補正予算を提出しています。

なお、開通後の誘客対策事業については、12月議会に補正予算を提出する予定です。

○移住定住促進

今年度から大交流課に定住促進係を置き「仕事」住まい「暮らし」についての情報を一元的に集めた移住定住の総合的な窓口を整備しました。

今年の4月から7月の窓口での相談件数は、77人(昨年同期比2.26倍)で、取組みの成果がはじまっています。

■未来を拓く人を育むまち

○子育て広場の整備

旧市町単位に「子育て広場」として芝生広場の整備を検討します。

既存の公共用地などを活用し、今年度は候補用地の絞り込みと子育て中の方からの意見聴取などを行い、来年度以降、設計・施工を行います。

○小規模保育事業

平成27年度施行の子ども・子育て支援新制度で、小規模保育事業が市町村の認可事業である「地域型保育事業」として位置付けられました。

本市では、待機児童の早期解消を図るため、保育ニーズの高い豊岡地域内での展開を促進したいと考えています。今議会に小規模保育事業のための施設改修費補助に係る補正予算を提出しています。

■人生を楽しむ

お互いを支え合うまち

○社会包摂(ソーシャル・インクルージョン)の推進

社会包摂は、人々を孤独や孤立、排除、摩擦から援護し、社会の構成員として包み支え合うという理念・概念です。

本市は「豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条

例」に定める一人一人を尊重するまちづくりを推進するため、まずは市職員が理解・意識を深め、施策への反映を検討します。

○出石文化会館の施設管理

出石文化会館ひほこホールは、開館から22年経過し、屋根や外壁の経年劣化が進んでいるため、老朽度調査を実施したいと考えています。

老朽度調査の結果と機能維持のために必要となる舞台設備等の大改修、地盤沈下対策の概要も踏まえ、ひほこホールの今後について検討します。

○日高文化体育館の改修

日高文化体育館は、開館から29年経過し、老朽化による施設の破損、劣化などが散見されます。当施設は、災害時の避難所に指定しているため、緊急措置として外壁の全面的な点検を行うなど、建物の長寿命化を図ります。

また、来年度に吊り天井の耐震化などを行うこととし、今年度、実施設計を行いたいと考えています。

○ホストタウン事業の進捗

国では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、ホストタウン事業を推進しています。

本市は、6月14日付でモンゴル国を相手国とするホストタウンに登録され、同国のボクシングチームの事前キャンプを誘致すべく、現在、モンゴル国側と折衝を行っていません。今年度中には、事前調査団を迎え、事前キャンプの実現へ向けて協定を締結したいと考えています。

来年4月のコミュニティセンターへの移行に向けた仕組みづくりの検討も、いよいよ仕上げの段階に入っています。今議会に、関連する条例の制定および改正案と、新たに債務負担行為の設定に係る補正予算を提出しています。

今回の議案の内容も踏まえ、10月に再度、地域に向けた説明会を行う予定にしています。

《市政の運営》

○地方創生の推進

7月26日付で地方創生総合戦略第2版を策定しました。今年度から地域再生法に基づき交付される地方創生推進交付金は、当初「先駆タイプ」

と「横展開タイプ」の交付申請を行う予定としましたが、5月中旬に国から「先駆タイプ」の申請要件が変更されたため「横展開タイプ」のみ2事業を交付申請し、採択されました。

その後、国は事業の申請上限数の緩和措置などを図ったため、さらに9月「横展開タイプ」の1事業を交付申請することとしています。

○放棄した債権

今議会に、平成27年度末で放棄した債権を報告します。放棄した債権の概要は、建築住宅課、教育総務課、水道課の9債権で、延べ1428人(一部水道の水栓数を含む)、7141万7842円です。

○農業委員会法改正に伴う

農業委員会等の体制変更が改正され、農業委員会制度が大きく変わりました。

豊岡市農業委員会では、現委員の任期満了後の平成29年4月21日に新体制をスタートさせる必要があり、新しい農業委員、農地利用最適化推進委員の定数等に係る条例案を今議会に提出しています。